

第 34 回研究大会 大会プログラム

Japan Association for International Education

34th Annual Conference

Abstracts

- 1 期 日：2025 年 6 月 28 日（土）・6 月 29 日（日）
*理事会：6 月 27 日（金）午後 6 時より開催（同志社大学今出川キャンパス・至誠館 3 階会議室）
*日韓中ストーリーテリングプロジェクトの発表会：14 時より同志社大学今出川キャンパス・至誠館 3 階 30 教室で開催
- 2 会 場：同志社大学（今出川校地新町キャンパス、尋真館・臨光館）
- 3 主 催：日本国際理解教育学会（同志社女子大学第 34 回研究大会実行委員会）
- 4 後 援：独立行政法人国際協力機構（JICA）、京都府教育委員会、京都市教育委員会
- 5 日 程：

(1) 第 1 日目 6 月 28 日（土）

9:30 10:00 12:00 13:00 14:00 16:30 17:00 18:30

受付	自由研究発表 (3 階 R305-315)	休憩	総会 (R301)	シンポジウム (3 階 R301)	移動	情報交換会 (寒梅館)
----	--------------------------	----	--------------	----------------------	----	----------------

- *発表者は 9:30 より会場で動作確認等ができます。
- *休憩時間などに書店や団体の展示ブースをぜひご覧ください（3 階 R302）。
- *総会およびシンポジウム会場は 3 階 R301 です。
- *情報交換会は今出川校地室町キャンパスの寒梅館です。新町バスから徒歩 10 分です。
(情報交換会ではアルコール飲料はお出ししていません。軽食とソフトドリンクのみです)
- *学内の食堂は二日間とも営業していません。昼食は各自でお持ちください。
(新町周辺のレストランマップをつけていますが、いずれも片道 10 分はかかります)

(2) 第 2 日目 6 月 29 日（日）

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受付	自由研究発表 (3 階 R305-315)	休憩	特定課題研究 (3 階 R 301)
----	--------------------------	----	-----------------------

- *発表者は 9:00 より会場で動作確認等ができます。

- 6 シンポジウム（6 月 28 日 第 1 日目）
『みんなちがってみんないい』を問い直す―国際理解教育と多様性―
- 7 特定課題研究（6 月 29 日 第 2 日目）
「特定課題研究：国際理解教育の担い手育成に向けて」

1日目 6月28日(土曜日) 自由研究発表 (10:00~12:00)

分科会1 R305 教室 司会: 小林亮(玉川大学)、中山京子(帝京大学)

国際理解教育における NVC (非暴力コミュニケーション) の可能性—予備的考察—

中原濤佳 (新潟国際情報大学国際交流ファシリテーター推進員)

De-colonial approach to the peace education beyond division: Korea, Cyprus and Ireland

강순원 (KANG, Soon Won, Hanshin University) ・ YONEZAWA, Kiyoe ・ HUNAYAMA, Neira

World peace education through denuclearization -80 Years after WWII and Nuclear Disarmament

Peace Education: A Comparative Study of Korea and Japan-

신정은 (SHIN, Jung Eun) ・ 박한나 (PARK, Hanna) (Seoul National University of Education)

阿藤カレン (秀明高等学校)

「平和と非暴力の文化」は普遍的か?— ユネスコ GCED における地球市民アイデンティティの可能性と限界

小林亮 (玉川大学)

分科会2 R306 教室 司会: 松倉紗野香(埼玉県立伊奈学園中学校)

木村大輔 ((一社) グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)) ・ 東北大学教育学研究科

グローバルシティズンシップを育む ESD カリキュラムの展開—研究開発学校「グローバルシティズンシップ科」を事例に—

松倉紗野香 (埼玉県立伊奈学園中学校)

A Case Study on the Experience of Reconstructing Global Citizenship Education in South Korea

박혜경 (PARK, Hyekyung) ・ 송단비 (SONG, Danbee) ・ 박미재 (PARK, Mijae) ・ 박환보 (PARK, Hwanbo) (Chungnam National University)

When AI meets global citizenship education: Critical aspects to reflect on

최윤정 (CHOI, Yoonjung, Ewha Womans University)

日本における ESD/グローバル・シティズンシップ教育の現状—理念と実践の間にあるギャップ

木村大輔 (グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)) ・ 東北大学教育学研究科

分科会3 R307 教室 司会: 由井一成(早稲田大学)、金仙美 (Kim, Sun Mi、中央大学校)

持続可能な開発のための教育 (ESD) のカリキュラム・フレームワーク: ユネスコと日本の手引きの比較検討

関 愛 (筑波大学大学院・院生)

A Study to Revitalize Global Citizenship Education through Korea's 'School Autonomous Time' Curriculum Policy

임재일 (LIM, Jae-ill, Heung-deok elementary school)

Analysis of the Current Status of Support for the Development of Competencies of GCED Lead Teacher in Korea (韓国における GCED 指導的教員のコンピテンシー育成支援の現状分析)

김선미 (Kim, Sun Mi, Chung Ang University) ・ 김다원 (Kim, Da Won, Gwangju NationL University of Education) ・

이경한 (YI, Kyeong Han, Jeonju National University of Education)、김종훈 (KIM, Jong Hunn, APCEIU)

カナダのグローバル・シティズンシップ教育に関する先行研究のレビュー

由井一成 (早稲田大学)

分科会 4 R308 教室 司会：姜英敏（北京師範大学）、釜田聡（上越教育大学）

文化的葛藤を巡る対話を通じた「異己」理解：日中大学生を対象としたオンライン交流授業

姜英敏（JIANG Ying Min、北京師範大学国際・比較教育研究院）

Reimagining International Understanding Education through EcoJustice: A Critical

Ecopedagogical Approach to Transcultural Collaboration

黄宇（HUANG Yu、北京師範大学国際・比較教育研究院）

The Incorporation of EIU into National Subjects in High School -- Practices and

Approaches in Chengdu

劉吉（LIU Ji、四川省成都市石室天府中学校）

日中の大学における「異己」理解のための対話型授業実践の試み

鄒聖傑（厦門大学嘉庚学院）・周勝男（厦門大学嘉庚学院）・中澤純一（東京未来大学）

分科会 5 R309 教室 司会：石森広美（北海道教育大学）

ベッティナ・ギルデンハルト（同志社大学）

外国につながる子どもの多住地域における多文化共生教育～地域理解で自尊感情と郷土愛を育むための実践～

韓文亨（大阪市立大池小学校）

Reconceptualizing South Korean Multicultural Education through ‘Asia as Method’

박희경（PARK, Hee Kyung, Seoul National University）

AI Pen Pals in Elementary School: Enhancing Cultural Understanding through Virtual

Cultural Exchange

김지윤（KIM, Jiyeon, Seoul National University）

박선운（PARK, Sunun, Cheongju National Univ. of Education）

宗教文化理解を深める授業の教育的成果と実践の可能性 ―ムスリム留学生との協働による多様な学びの視点から

石森広美（北海道教育大学）

分科会 6 R310 教室 司会：田中淳子（University of San Francisco）

南 美佐江（大阪教育大学附属高等学校池田校舎）

高校生はグローバルな帰属意識をどのように身につけるのか―国際バカロレアの履修経験に着目して―

玄在均（筑波大学）・御手洗明佳（淑徳大学）・菊地かおり（筑波大学）

二人の帰国子女の協働的自文化記述誌：批判的实在論の観点から教育ナラティブの構成

박순용（PAK, Soon-Yong）・차보은（CHA, Boeun, Yonsei University）

Is international education ethical and political enough? Rethinking the ethics and politics of international student mobility

이지현（LEE, Jihyun, APCEIU）

Theoretical Framework: Ethnic Studies and Omoiyari（理論的枠組みの開発：エスニック・スタディーズと思いやりの概念をもとに）

田中淳子（University of San Francisco / San Francisco Unified School District）

分科会7 R311 教室 司会：中澤純一（東京未来大学）、青木香代子（茨城大学）

「社会正義の実現」に向けた学習者の価値観の変容を引き出すハンズ・オン展示の可能性―日系カナダ人博物館の展示事例の分析を通して―

津山直樹（創価大学）・中澤純一（東京未来大学）

社会正義を目指す教師の育成―アメリカにおける様々な抑圧に対抗するための教師教育―

青木香代子（茨城大学）

地図帳を活用した移民学習の授業開発

岡本龍治（出版社勤務）・中澤純一（東京未来大学）

国際理解教育における移民学習の意義―社会正義の実現を視座として―

中澤純一（東京未来大学）・津山直樹（創価大学）

分科会8 R312 教室 司会：風巻浩（聖心女子大学）、阿部裕子（東京福祉大学）

「国際理解教育」と2023 ユネスコ教育勧告―1974 国際教育勧告の改定過程の分析からみえてくるもの

阿部裕子（東京福祉大学）・嶺井明子（元筑波大学）

ユネスコの「変容的教育」推進の意義と課題

上村明英（聖心女子大学大学院）

コンヴィヴィアリティについて～ユネスコ教育勧告をふまえて～

風巻浩（聖心女子大学）

ナレッジ・コクリエーションへの応答：ユネスコ教育勧告の教材作成を事例に

永田佳之（聖心女子大学）

分科会9 R313 教室 司会：岩橋嘉大（兵庫県立青雲高校）、河野晋也（奈良教育大学）

人獣共通感染症のリスクに高校生はどのように向き合うか？―高等学校歴史総合および公共におけるブッシュミートの取引をめぐる授業開発と分析―

畠山尚之（大阪教育大学附属高等学校池田校舎）

アフォーダンスの概念を援用したESDにおける変容

河野晋也（奈良教育大学）

国際理解教育における未来洞察型授業の可能性―学習領域「未来への選択」の設定理念を手がかりに―

澁谷友和（奈良教育大学）

参加型未来洞察へのアプローチ～「未来への選択」の次なる発展を意図して～

岩橋嘉大（兵庫県立青雲高校）

分科会10 R314 教室 司会：杉本孝美（桃山学院大学）、吉藤玲子（帝京平成大学）

日本と中国の年中行事から学ぶ異文化理解の学習方法～横浜山手中華学校との交流を通して～

吉藤玲子（帝京平成大学）

「りんごの棚」をテーマにした総合的な学習の時間の一考察

細谷邦弘（横浜市立幸ヶ谷小学校）

様々な地域の民間伝承から文化の尊重について考える

土屋京子（千葉市立有吉小学校・千葉大学大学院教育学研究科）

構造―機能主義的視点と国際理解教育―

宇土泰寛（椋山女学園大学）

分科会 11 R315 教室 司会：森田真樹（立命館大学教職大学院）

阿部一郎（多文化協働ネットワーク・金沢大学）

探究的な学びを通じた高校生の国際理解の深化ー地域在住外国人との交流活動を通してー

山口智恵（兵庫教育大学大学院）・岩見理華（兵庫教育大学）

私たちの問題として難民問題を考える授業開発と実践 ー東日本大震災後に発生した 福島県いわき市の住民対立を事例にー

高田裕行（国分寺市立第三中学校）

国際理解教育における日本と中国の対話の可能性ーケアの倫理に焦点を当ててー

劉旭（広島大学）

能登半島地震と多文化共生ー外国人被災者への支援を通して見えてきた課題と展望

阿部一郎（NPO 法人）多文化協働ネットワーク・金沢大学）

総会 6月28日（土）13:00 – 14:00 R301 教室

シンポジウム 6月28日（土）14:00 – 16:30 R301 教室

「みんなちがってみんないい」を問い直すー国際理解教育と多様性ー

Reexamination of “Everyone is different, everyone is special”

-International Understanding Education and Diversity-

趣旨説明 岩坂泰子（同志社女子大学現代社会学部教授）

多文化共生拠点「いくのパーク」の挑戦ー大阪・生野から境界を編みなおすー

宋 悟（NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと理事・事務局長）

「ちがい」に向き合い、ともに生きる力を育むー多文化共生教育実践における「ちがい」を尊重し合う関係性の構築ー

山田文乃（大阪公立大学人権問題研究センター特別研究員）

社会課題としての差別への取り組み方ーマイクロアグレッションから考えるマジョリティの特権

中村 正（立命館大学産業社会学部特任教授/一般社団法人 UNLEARN 代表理事）

国際理解教育と多様性-多文化共生社会をめざして

松尾知明（法政大学キャリアデザイン学部教授）

*情報交換会は 17 時より室町キャンパスの寒梅館 1 階レストランで行います。

新町キャンパスから徒歩 10 分ほどです。添付の地図をご覧ください。

*展示ブースでは以下の出版社・企業・団体の紹介展示をしています。R302 教室

・明石書店 ・朝日学生新聞社 ・ナカニシヤ出版 ・JICA 地球ひろば/JICA 関西

2日目 6月29日(日曜日) 自由研究発表 (09:30~12:00)

分科会 12 R305 教室 司会：永田佳之（聖心女子大学）

藤井三和子（兵庫教育大学大学院/兵庫県立神戸商業高等学校）

ユネスコ教育勧告普及のためのカード型教材 1～教材開発と教育的意義

木間明子（東京都ユネスコ連絡協議会）・阿部裕子（東京福祉大学大学院）

藤井三和子（兵庫教育大学大学院/兵庫県立神戸商業高等学校）

ユネスコ教育勧告普及のためのカード型教材 2ー成果と課題ー

藤井三和子（兵庫教育大学大学院/兵庫県立神戸商業高等学校）

阿部裕子（東京福祉大学大学院）・木間明子（東京都ユネスコ連絡協議会）

ユネスコ教育勧告普及のためのカード型教材 3～中学校における取り組みー

平澤香織（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・東京大学大学院教育学研究科）

ユネスコ教育勧告普及のためのカード型教材 4～小学校教員研修における取り組み

矢野淳一（伊豆の国市立大仁北小学校）

分科会 13 R306 教室 司会：林 加奈子（桜美林大学）、横田和子（日本映画大学）

3代続く平和の種を蒔くーHenning Haslund と 20 世紀前半のモンゴルー

横田和子（日本映画大学）

子どもの Agency を顕在化する地球市民教育の探究ー困難当事者から Agency の Identity 確立へー

大滝修（東京経済大学）

翻訳絵本制作における「迷い」を組み込んだ「絵本トーク」実践の研究ー『もしぼくが鳥だったら：パレスチナとガザのものがたり』

前田君江（東京大学、ゆぎ書房代表）

平和の文化づくりにおける「自然的存在」としての人間と「日常」ー「平和の文化連続トーク」15 回での語り合いを通して見えてきた課題

山西優二（早稲田大学）・林加奈子（桜美林大学）・宮野祥子（桜美林大学）

分科会 14 R307 教室 司会：福山文子（専修大学）、居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

ポストコロニアル太平洋の象徴「スパム」の教材化に向けてーハワイ・グアム・パラオ・沖縄・韓国から考えるー

中山京子（帝京大学）

マリアナ諸島の歴史と音楽文化に目を向ける試みー高等学校音楽における教材開発③ー

居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

社会的論争問題を取り上げた中学校社会科の授業実践ーコロンブスを題材としてー

木村真冬（お茶の水女子大学附属中学校）

東北アジアおよび東南アジアにおける日本人結婚移住家庭の教育について

渡辺幸倫（相模女子大学）

先住民族アイヌの「忘却された痛み」・権利・表象に関する授業ー一人の移動が示す多様な思考と生き方から

福山文子（専修大学）・中山京子（帝京大学）

分科会 15 R308 教室 司会：祐岡武志（阪南大学）、森田育志（大阪公立大学）

多文化 ESD 開発のための学際研究

池口明子（横浜国立大学）・戸沼雄介（川崎市立住吉中学校）・鈴木朋子（横浜国立大学）

橋本ゆかり（横浜国立大学）・村越俊（横浜国立大学附属横浜中学校）

ESD の国際基準および質的向上に関する理論的研究－教師教育の視点をふまえて－

森田育志（大阪公立大学）

地球市民意識を育成する世界史探究の単元開発研究－ビッグヒストリーとESDの環境領域に着目して－

祐岡武志（阪南大学）

多文化共生社会に向けた日本の学校文化を再考する－ユネスコ『教育の未来』報告書に着目して－

大塚 圭（中央大学杉並高等学校）

分科会 16 R309 教室 司会：三牧純子（明治大学）、荒川裕紀（明石工業高等専門学校）

小学校における留学生との定期的な交流活動がもたらす教育的効果－自己省察を基にしたコミュニケーション及び異文化理解力に関する一考察－

日下智志・石坂広樹・内住祐介（鳴門教育大学）・川越美和（高知市立はりまや橋小学校）

中等教育における長期交換留学の変遷と社会的意義に関する考察

荒川裕紀（明石工業高等専門学校）

サステナビリティ学習を通じた日本・タイの学生交流－「強み」に焦点を当てて

三牧純子（明治大学）

中学生、日本人学生、交換留学生が取り組む国際共修授業の実践－三者はどのような経験をし、何を学んだのか

瀬尾匡輝（茨城大学）

分科会 17 R310 教室 司会：池田花笑子（中之島小中一貫校/大阪市立中之島小学校）

山田文乃（大阪公立大学人権問題研究センター）

ESD を促進する複言語・複文化の環境づくり

杉本孝美（桃山学院大学）・山川智子（文教大学）・中井精一（和歌山信愛大学）

幼児期と小学校低学年をつなぐ「多文化共生」に資する多言語の文字学習前活動「みんなの絵あそび」

岩坂泰子（同志社女子大学）・山田文乃（大阪公立大学人権問題研究センター）

藤井和代（NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと）

大阪市の「しんどい子」を包摂する教育実践の歴史的連関－同和・人権教育から多文化共生教育への継承と変容

山田文乃（大阪公立大学人権問題研究センター）

グローバル・シティズンシップの育成における探究的学習の意義－授業デザインとアセスメントの視点から－

池田花笑子（中之島小中一貫校/大阪市立中之島小学校）

ポスト真実時代のメディア情報リテラシー教育の実践－「真実」「事実」を批判的に考える－

高松美紀（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

分科会 18 R311 教室 青山翔（山口大学）、小関一也（常磐大学）

自己変容で読み解く SDGs 教育実践 ―「小さなトランスフォーメーション」を鍵概念として―

米山周作（学習院高等科）、小関一也（常磐大学）、石川一喜（拓殖大学）

地球市民を育む海外研修 2 ～「小さなトランスフォーメーション」が啓く学びの地平

小関一也（常磐大学）

人権学習における教員の葛藤にどのように寄り添うか―A 中学校のゲストティーチャーの関りを通して

孫 美幸（文教大学）

元青年海外協力隊員による出前講座が中学生の国際理解に関する興味関心に与える効果

青山翔（山口大学）

国際理解教育における内省・対話の支援手法としての LSP の検討

糺 広大（広島大学大学院）

分科会 19 R312 教室 司会：高橋宏輔（朝日学生新聞社）

佐々木織恵（国立社会保障・人口問題研究所）

小学校における多文化教育の授業実践 ―「外国につながりのある人々」を知るための単元開発を通して

石山沙希（川越市立南古谷小学校）

熊本市における外国ルーツの子ども支援：資格化、社会化、主体化の視点から

佐々木織恵（国立社会保障・人口問題研究所）

韓国における脱北青少年教育の検討―代案教育学校・公立多文化小学校を事例に―

高野慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）

国際理解教育と日本語教育における「子ども向け新聞」活用と展望―外国人労働者増加に伴う取り組みと課題―

高橋宏輔（朝日学生新聞社）・藤原孝章（元同志社女子大学）

外国語教育における媒介としての言語意識―中高生による語りから―

寺村優里（京都大学）

分科会 20 R313 教室 司会：菊地恵美子（東北大学）、清水和久（金沢星稷大学）

台湾の小学校との国際協働学習の展開と大学の支援の在り方

清水和久（金沢星稷大学）

中等教育におけるグローバル教育実践研究 ―国際フォーラムと海外研修を通じた非認知能力を育む取り組み―

中西美佐・橋本彩（立命館中学校・高等学校）

高等学校における GCED 実践研究 ～海外のコミュニティとの協働による授業立案・実践を軸に～

岸本直子（箕面自由学園高等学校・大阪大学大学院人間科学研究科）

国際共修における SDGs 探究学習 ～宮城県の稲作と牡蠣養殖を Case Study として～

菊地恵美子（東北大学）

国際交流事業に参加した日本人青年の国際共修後における省察の分析―参加青年のインタビューとレポートによる考察―

長木愛（川崎医療福祉大学）

分科会 21 R314 教室 司会：中島義和（常葉大学）、大崎美佳（広島女学院大学）

課外活動が育む子供の主体性と発信力ーIB校の実践例からの示唆ー

大崎美佳（広島女学院大学）

複数言語背景の生徒へのトランスランゲージングを用いた母語習得の授業実践ー国際バカロレアにおける試みー

山田浩美（筑波大学）

高等学校英語コミュニケーションⅡにおける異文化交流の実践ーマレーシアの大学職員との交流を通じた生徒の気づきと意識の変化ー

春岡恵子（兵庫県立洲本高等学校）

国際的志向性の向上を目指す個別最適な学びの空間創造の試みー新設高校における実践事例報告ー

中島義和（常葉大学）

分科会 22 R315 教室 司会：下島泰子（東京学芸大学）、東優也（海老名市立杉久保小学校）

初等教育における色と旗をテーマとした国際理解教育の取り組み

中 陽佑（奈良市立都祁小学校）

多様性を考える国際理解教育実践ー低学年での実践からみるダイバーシティ教育の価値と可能性ー

東優也（海老名市立杉久保小学校）

小学校1年生における国際理解教育の実践 ～「何から？どこから？」の学習を通して～

挟間理沙（京都文教小学校）

小学校における2国4校との国際交流～0を1以上にするために～

石橋佳奈（福山市立山手小学校）

小学校で取り組むSDGs：「服紙プロジェクト」が目指すウェルビーイングの向上

下島泰子（東京学芸大学）・伊勢祐美子（世田谷区立若林小学校）

特定課題研究 6月29日（日）13:00 – 16:00 R301 教室

国際理解教育の担い手育成に向けて

13:00～13:10 趣旨説明 石森広美（北海道教育大学）

13:10～15:30 第1部 プロジェクト（分科会）報告

1. 外国語教育と国際理解教育（13:10～14:00）

「外国語の授業を通じた国際理解教育の実践者（担い手）を育てる試み」

2. 教員養成と国際理解教育（14:05～14:45）

「教員養成課程における担い手の育成：カリキュラムの考察と実践現場からの提案」

3. 地域の多文化化と国際理解教育（14:50～15:30）

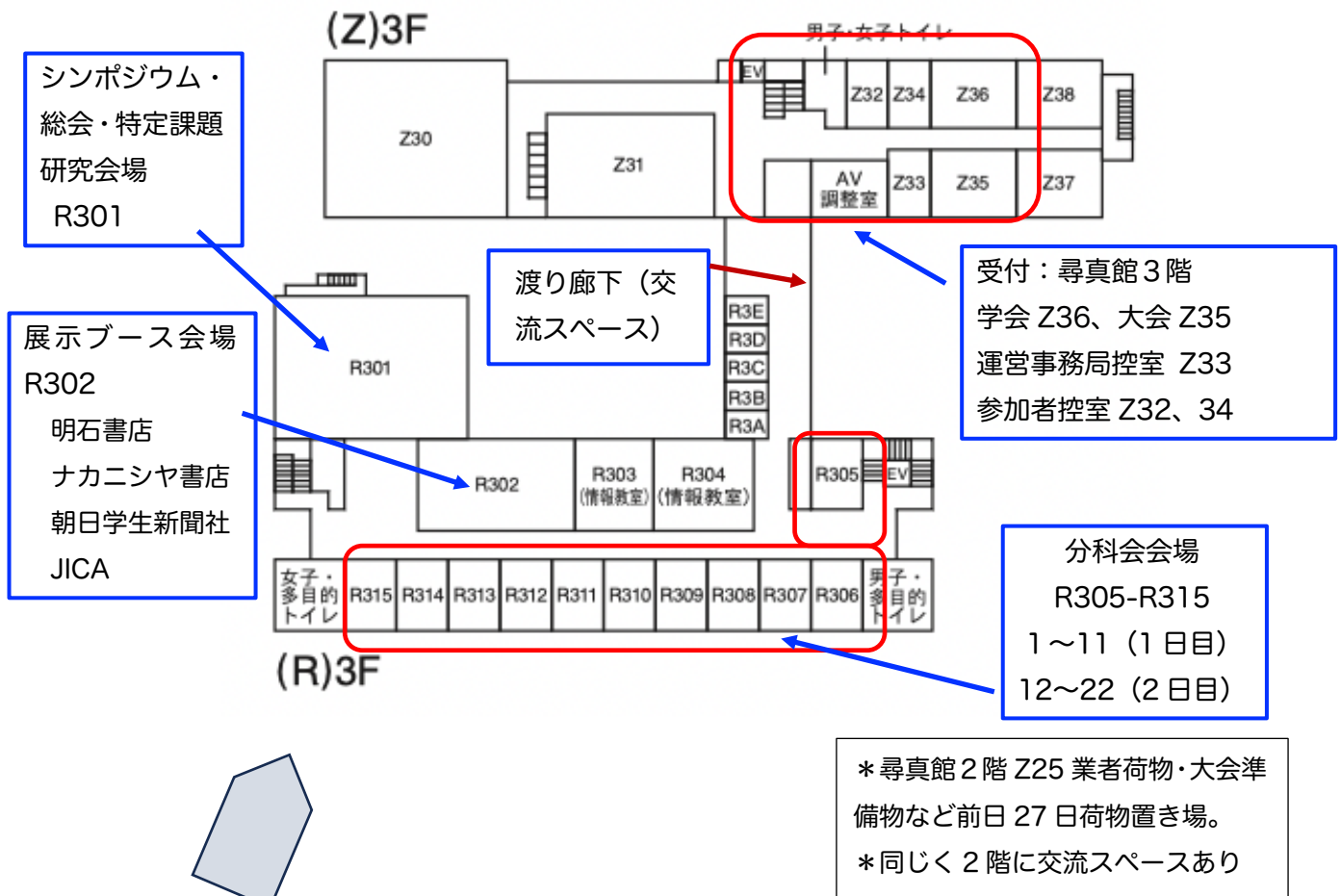
「地域の多文化共生へ向けた教育の担い手の育成と共育：3つの視点と場の問い直し」

15:40～16:00 意見交換，振り返り

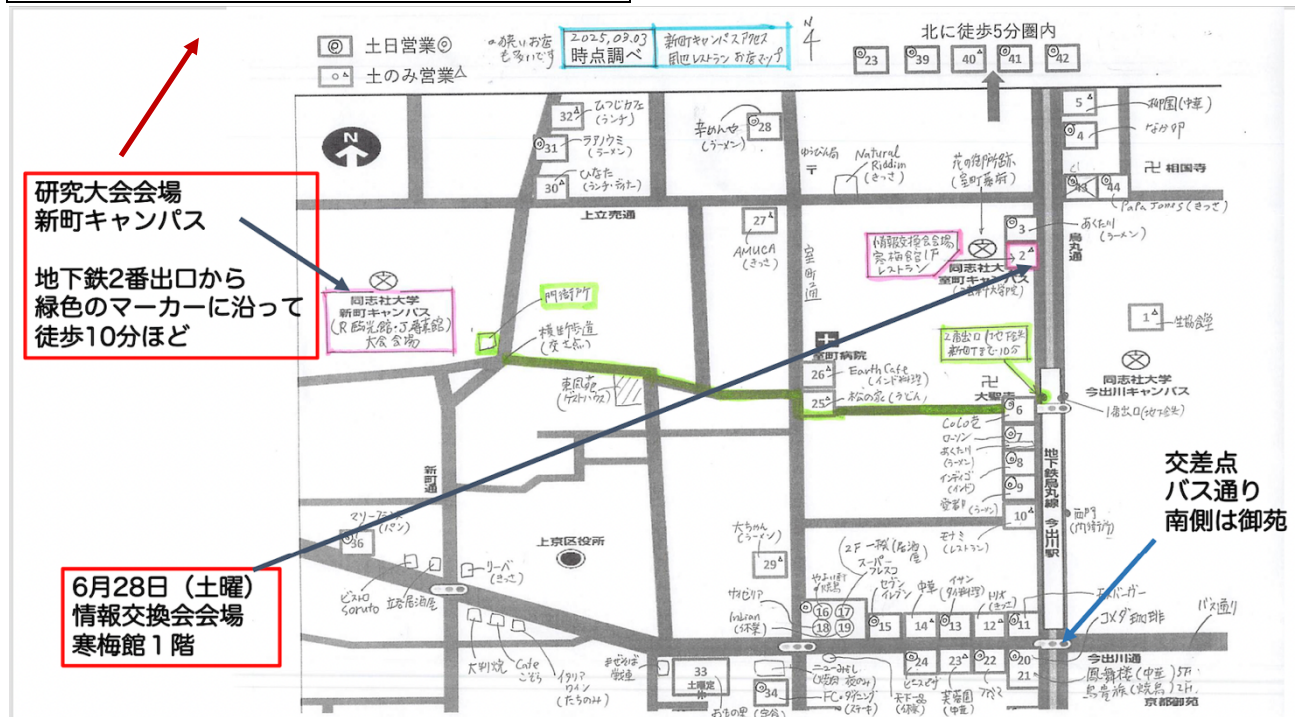
「3つのプロジェクトから見えてきたこと（成果と課題）：担い手育成に向けて」

まとめと今後への展望 市瀬智紀（宮城教育大学）

メイン会場：臨光館（R） 尋真館（Z） 3階



新町キャンパス：臨光館（R） 尋真館（Z）



<https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/index.html>

新町キャンパス

2024年12月現在

[illegible]

同志社女子大学(今出川キャンパス)

大会に関するお問い合わせは、上記アドレスへメールでお願いします。